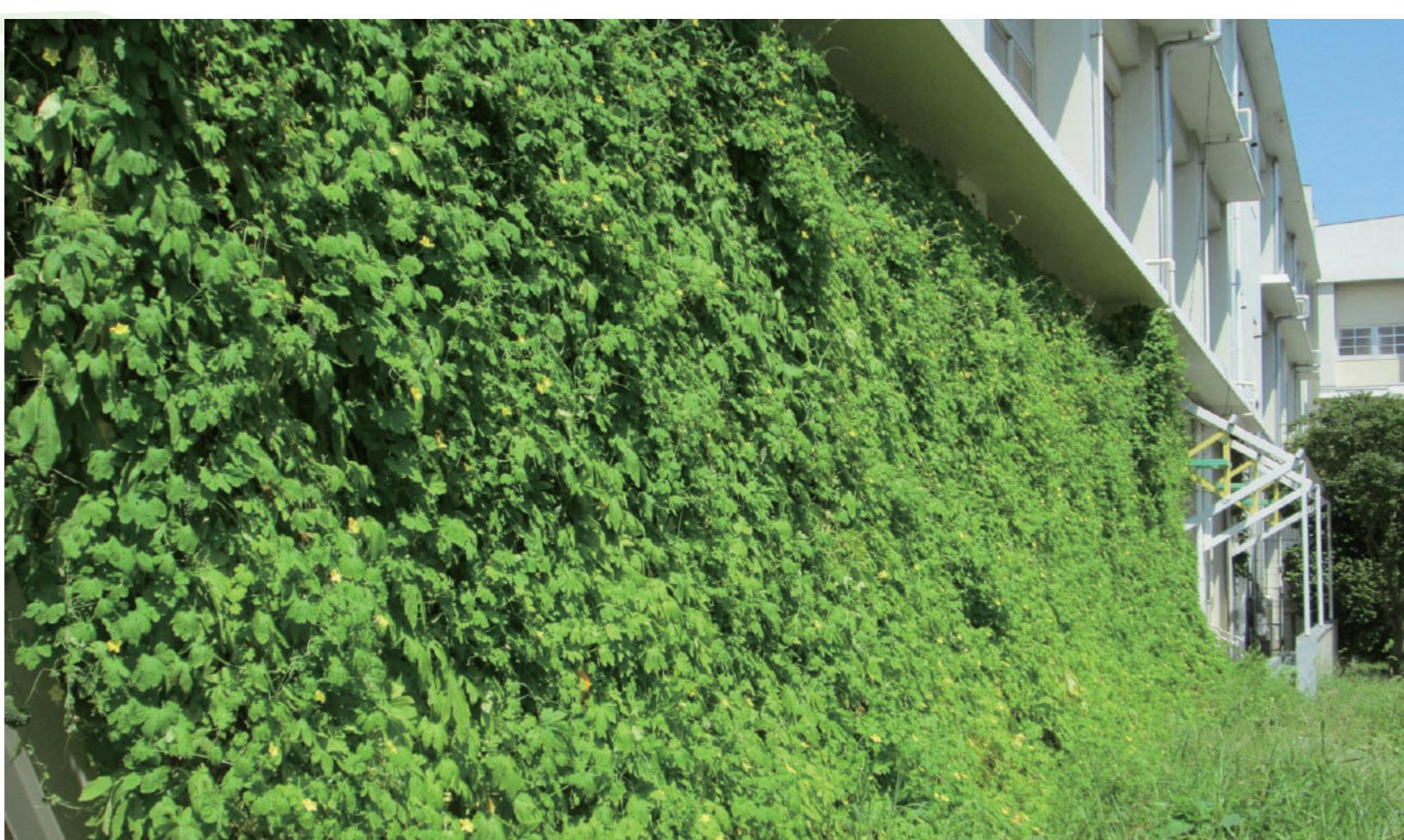


みどりのカーテン実践例

□ 長岡京市



長岡京市立長岡第四小学校では、学校での環境教育の取組としてみどりのカーテンを作っています。水やりには雨水タンクを使い、校区内の家庭から出る生ごみを集めて、校内のコンポストで堆肥にして、みどりのカーテンの植物の肥料として利用しています。

□ 福知山市



福知山市では「みどりのカーテン実施率日本一」をスローガンに、「福知山環境会議」が中心となってみどりのカーテン活動を広げています。平成27年夏の調査では、市内の家庭10%が緑のカーテンを作っていることが分かりました。ゴーヤ先生の活躍もあり、学校現場や家庭でのみどりのカーテンの取組が目に見える形になってきています。

□ 八幡市



八幡環境市民ネットは、八幡市立の幼稚園や保育園などで苗の提供などみどりのカーテン設置の支援を行ったり、環境出前講座を行ったりしています。また、毎年5月には会のメンバーが講師を務め、一般家庭向けの栽培講習会を市内数カ所で開催しています。また「ゴーヤ」だけでなく「つるむらさき」を利用しているところも八幡市の取組の特徴です。